

## バイオセラピー学 特別研究総合演習（三）（2 単位）

担当者氏名 小川博・佐々木剛・松林尚志・増田宏司・土田あさみ・宮本太・御影雅幸・三井裕樹・小池安比古・松嶋賢一・太田光明・川嶋舟・内山秀彦・浅野房世・藤岡真実

### ◆学習・教育目標（到達目標を記載）

授業担当教員の指導の下で博士論文として、研究成果を体系的に取りまとめるための理念を習得することが大きな目標である。研究の意義は何か？バイオセラピー学としての視点は何か？これらの問いに対し、各自の研究を基礎として研究者として自立できる思考と知識を構築する。そして博士として社会にどのような貢献ができるのか？どのように取り組んでいくことができるのか？研究者として自立できる素養を身につける。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物学

伴侶動物学

植物共生学

人間植物関係学

動物介在療法学

植物介在療法学

論文作成

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	講義の進め方	本講義の意義, 進め方	◎本講義では、指示された内容について事前に準備を行う◎担当教員との討議を通して課題や助言が与えられるので、その内容を参考に研究を実施、改善すること。
2	学位について(1)	日本の学位制度と本学における学位	
3	学位について(2)	本学における学位授与の要件	
4	学位について(3)	本学における学位授与の基準	
5	研究の背景	研究の社会的・学問的背景、先行研究	
6	研究の目的	研究実施の動機、意義	
7	バイオセラピー学	バイオセラピー学的視点	
8	論文の構成	研究の目的を達成するための課題の整理	
9	課題の整理 (1)	各課題の背景、目的	
10	課題の整理 (2)	各課題の方法、結果	
11	課題の整理 (3)	各課題の考察、小結論	
12	総合考察	研究の新知見、独創性、意義	
13	論文英語	英文サマリー、図表の英文表記	
14	論文の公開	論文公開の義務と意義	
15	総括	講義の総括	

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜、必要に応じて指示する

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

バイオセラピー学入門/林良博・山口裕文編著/講談社(2012)

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

課題の達成状況により評価する。

### ◆オフィスアワー

昼休み（12:30～13:00）

### ◆その他受講上の注意事項

(オフィスアワー※： )

指導内容と時間、指導への対応等について記録した月報を作成すること。

---